

開発建設部職員の時差出勤の試行状況について

〔那覇都市圏交通円滑化総合計画に基づく
時差出勤への取り組み（経過報告）〕

○沖縄総合事務局開発建設部では、「那覇都市圏交通円滑化総合計画（平成19年11月策定）」に基づく、「交通利用時間の分散」のソフト施策の1つとして、平成20年5月より時差出勤の試行を実施しており、半年間の試行を踏まえ、これまでの取り組み状況について報告します。

○時差出勤の試行内容

【試行期間】平成20年5月より

【参加人数】194人（9時出勤=5人、9時30分出勤189人、職員数377人中）

※平成20年5月時点

【出勤時間】9時30分を基本（従前8時30分）

○開発建設部における時差出勤の試行による効果としましては、以下の通りです。

1. 時差出勤の試行実施に関するアンケート調査結果より

①通勤時間短縮 → 車通勤回答者の約6割の方が「短縮効果があった」と回答。そのうち7割の方は10分以上の短縮効果を実感。（別紙参照）

②ゆとりの創出 → 時差出勤の実施により朝にゆとりの時間が増え、心身両面において良好であるとの感想が多い。（別紙参照）

2. データ解析により

③渋滞長削減 → 一般国道58号浦添市勢理客（安謝）交差点において、北から南向け3～9mの渋滞長削減効果発現。（別紙参照）

※時差出勤の試行実施に関するアンケート調査結果に基づくシュミレーションより

④交通減少 → 上記勢理客（安謝）交差点において、時差出勤実施前後で渋滞発生時間の減少が見られることから、時差出勤による交通量削減効果も少なからず寄与しているものと考えられる。（別紙参照）

※VICSデータより（VICSデータ=道路交通状況の計測データ）

○沖縄総合事務局開発建設部としましては、沖縄県・那覇市への時差出勤を働きかけるとともに、引き続き平成20年度末まで試行を継続する予定です。

平成20年10月16日

問い合わせ先：沖縄総合事務局開発建設部道路建設課

課長 金城 博

道路計画調整官 高良 哲治

電話 098-866-1914（直通）

■開発建設部時差出勤の試行による効果について

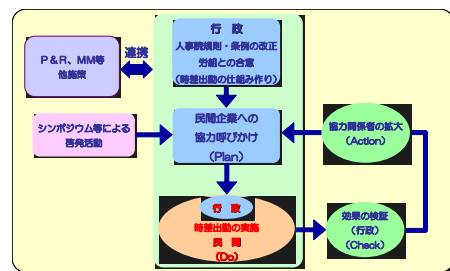
●これまでの取り組み状況

■平成19年11月『那覇都市圏交通円滑化総合計画策定』及び『時差出勤導入推進専門部会を設立』し、協働体制(沖総局・県・那覇市・商工会議所)を確立。

■平成20年1月より沖総局内部(人事課・労組)調整及び導入に向けたアンケート調査実施(対象:沖総局全体・県・那覇市・民間事業所)。

■平成20年5月より沖総局開建部において、「時差出勤」試行開始(職員数377人中194人が実施)。

■平成20年9月、開建部試行における効果分析を実施(アンケート回収300人)し、今後の本格導入・拡大に向けてフォローアップ実施。



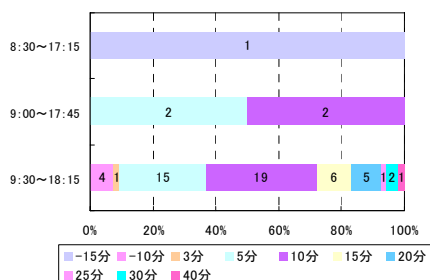
図一時差出勤の展開 (PDCAによる時差出勤の拡大)

●沖総局開建部の試行結果【効果】について

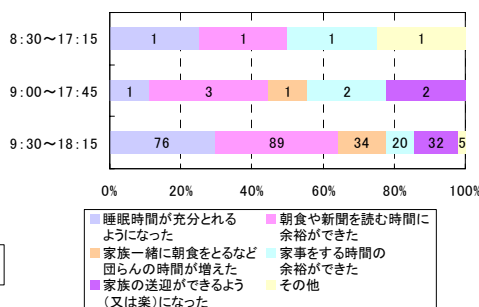
1. アンケート結果より

- ① 通勤時間短縮 → 車通勤回答者 (95人) の約6割の方が「短縮効果があった」と回答。そのうち7割の方は10分以上の短縮効果があったとしている。
- ② ゆとりの創出 → 時差出勤の感想(出勤前)については、「睡眠時間が十分とれる」、「朝食や新聞を読む時間に余裕ができた」等の回答が非常に多く、時差出勤の実施により朝にゆとりの時間が増え、心身両面において良好な結果となっている。
- ③ 本格導入は? → 時差出勤回答者(195人)の約7割の方が「時差出勤の本格導入」に<賛成>(条件が整えば賛成を含む)と回答した。

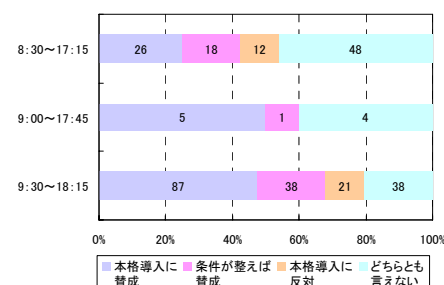
▼通勤時間の短縮効果について



▼時差出勤の感想について



▼本格導入について

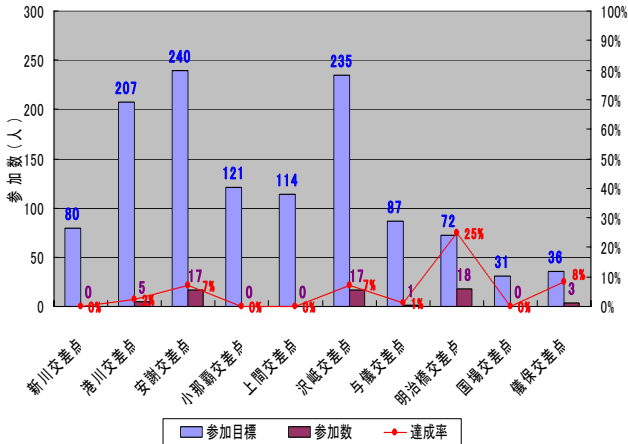


2. データ解析より

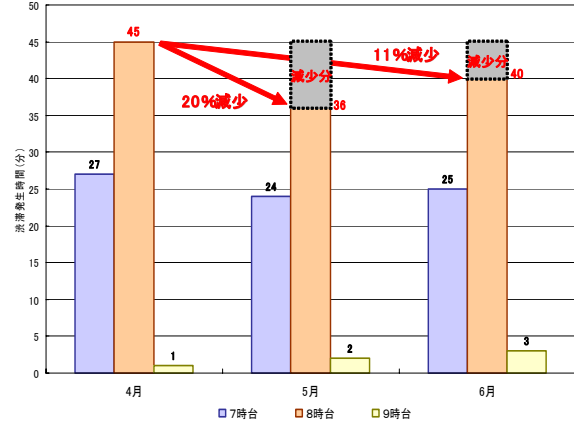
- ④渋滞長削減 → 開建部の試行により勢理客(安謝)交差点では、北から南向

け3～9mの渋滞長削減効果(アンケート調査結果に基づくシュミレーションより)。

⑤ 交通減少 → 勢理客(安謝)交差点の渋滞時間を時差出勤実施前後(H20.4月～6月)で見ると、渋滞発生時間について5月は20%の減少、6月は11%の減少が見られる。この中に時差出勤による交通削減量も少なからず寄与しているものと考えられる(VICSデータより)。



図一 試行による参加数と目標達成率



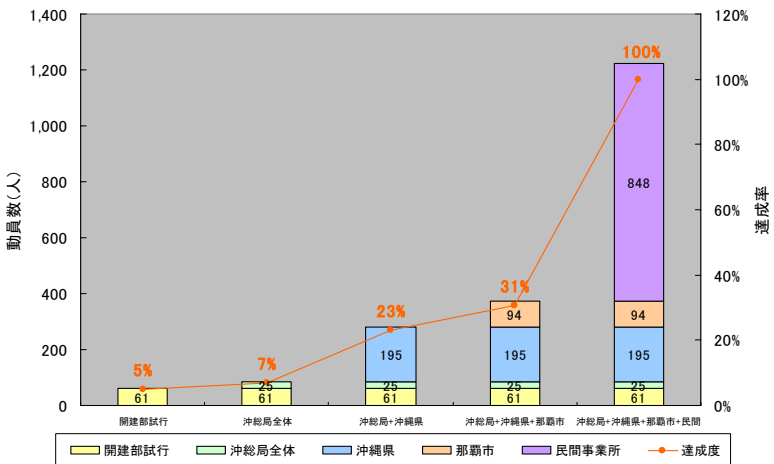
図二月別時間帯別渋滞時間 (VICs データ)

●今後の取り組みについて

今回の試行では、時差出勤の参加目標に対し、対象交差点全体で見ると参加者で61人、達成率は5%に留まっているものの、時差出勤の取り組みが、沖総局全体、沖縄県、那覇市へ順次拡大・導入することによって、参加目標達成率が7% (沖総局全体)、23% (沖総局+沖縄県)、更には31% (沖総局+沖縄県+那覇市)へと向上し、対象交差点における渋滞緩和に大きく繋がっていくものと考えられる。

また、時差出勤の取り組みが民間事業所まで拡大し目標に達した場合、最大38m～144mの渋滞削減効果が期待できる。

沖縄総合事務局開発建設部としましては、沖縄県・那覇市への時差出勤を働きかけるとともに、引き続き平成20年度末まで試行を継続する予定です。



図一 機関別の時差出勤参加数と達成率

表一 対象交差点における渋滞削減長

| 交差点名 | 渋滞削減長 (m) |
|--------|-----------|
| 新川交差点 | 16m～47m |
| 港川交差点 | 44m～143m |
| 安謝交差点 | 45m～144m |
| 小那覇交差点 | 18m～54m |
| 上間交差点 | 17m～49m |
| 沢岬交差点 | 47m～142m |
| 与儀交差点 | 17m～50m |
| 明治橋交差点 | 10m～39m |
| 国場交差点 | 11m～38m |
| 儀保交差点 | 14m～47m |